

2023 名古屋大学オープンキャンパス生命理学領域 プログラム

1. 学科説明会(生命理学): 生命理学領域主任(日比正彦教授)

タイトル:「生命の神秘に挑む生命理学科における研究・教育・キャンパスライフ」

時間:11:00、13:30、15:00 よりの3回

場所:野依記念学術交流館1階

2. 研究室見学ツアー(理学部 G 館、E 館、南館、生物機能開発利用研究センターの各研究室の見学)

時間:13:00、14:00、15:00 より

集合場所:理学部 G 館1階 G101受付

ツアーグループ:15~20名

*3つの時間帯それぞれで、下記の4つのコースから一つずつ選択できます。

1. 理学南館:(細胞制御学)「昨日のことが思い出せないマウスの話(約40分)」

2. 理学 E 館:(植物生理学)「植物の巧みな環境応答・気孔開閉 / 植物生育施設・暗室」(約40分)

3. 生機セ:(器官機能学)「ゼブラフィッシュの神経と行動デモンストレーション / 水棲動物施設」(約40分)

4. 理学 G 館:(異分野融合生物学)

「領域展開 "数理" "AI" 生きるという行為に無限回の模擬(シミュレーション)を強制する」(約20分)

+理学南館:(細胞間シグナル研究)「細胞間シグナルから読み解く植物の生存戦略」(約30分)

3. 生物標本展示・研究内容ポスター展示説明

①生物標本展示(理学部 G 館1階 G113(*実験室のため飲食はご遠慮願います))

時間 11:00~15:00 (*17時までではありませんのでご注意ください)

1. (脳回路構造学)「ショジョウバエへの遺伝子導入と発光」

2. (器官機能学)「メダカの色素細胞の分化と体色変異」

3. (分子神経生物学)「線虫の野生株と突然変異体」

②研究内容ポスター展示説明(理学部 G 館1階 G113(*実験室のため飲食はご遠慮願います))

時間 11:00~17:00

1. (分子修飾制御学)「細胞内におけるタンパク質分解とこれにより制御される生命現象/ユビキチンシステム」

2. (分子発現制御学)「ノンコーディング RNA から見つかった新たなタンパク質の研究」

3. (器官機能学)「小脳発生のしくみ」

4. (発生成長制御学)「光合成だけが葉緑体のはたらきではない! / ハエの卵・精子形成に関する研究」

5. (生体分子動態)「植物細胞の形づくりの理解と操作」

6. (異分野融合生物学)「生命のビート、データのフロウ。異分野の融合(フュージョン)、
生命科学の魅惑(イリュージョン)」

4. 研究室紹介動画(生命理学22研究室)の上映(生命理学ホームページからも見ることができます。)

時間 11:00~17:00

場所 G101 (動画視聴の合間に休憩にもお使いください)